

圧倒的なコストパフォーマンスを実現したGPUクラウドサービス



GPUSOROBAN

こんな課題はありませんか？

- ✓ GPUが手に入らない・価格が高い
- ✓ データ転送料や隠れコストが重い
- ✓ ドル建て決済でコストが急増(為替変動リスク)
- ✓ 国内法規制に対応したデータセンターが必要

すべてGPUSOROBANが解決します

豊富なNVIDIA® GPUラインナップ

A4000	A100	H200	B200
GPUメモリ	GPUメモリ	GPUメモリ	GPUメモリ
16GB	40GB / 80GB	141GB	180GB

GPUSOROBANが選ばれる3つの理由



業界最安級&円建て固定料金

高価な外資系クラウドとは異なり、為替の変動に左右されない「日本円」での料金体系。データ転送料は無料。予算超過の心配なくご利用いただけます。



安心の国内データセンター

GPUSOROBANは国内の自社データセンターで運用しています。日本の法律に準拠したデータ管理で、機密情報の取り扱いも安心です。



日本語対応の技術サポート

「環境構築が不安」という方も安心。導入後の技術サポートは無料ですべて日本語対応しており、マニュアルも日本語となります。

業界最安級で提供できる理由

建設コストを抑制

研究所(香川県)や未活用廃校(佐賀県)を利活用することで建設コストを抑えています。



設備コスト・SLAの工夫

AIの学習や研究所のシミュレーションに特化することで設備コストを抑えています。SLA保証を行わないことで低価格を実現しています。



各プランの料金・お問い合わせはこちら



Email: ln-gpu-sales@highreso.co.jp
TEL: 03-6775-7888

株式会社ハイレゾ
〒162-0843
東京都新宿区市谷田町3丁目24-1



NVIDIA H200 vs A100

ベンチマーク徹底比較

Advance/NanoLabo は、オープンソースの解析ソフトをベースにした材料シミュレーション統合 GUI です。構造準備から可視化までをシームレスに繋ぎ、注目の GNN-MD 計算にも対応しています。高度な計算を研究現場の日常的なツールへと昇華します。本パネルでは、実運用で鍵となる GPU 環境について、NVIDIA HGX™ H200 と A100 の GNN-MD 計算におけるベンチマーク（計算時間・最大系サイズ）を徹底比較します。

検証条件

対象系：
Li₁₀GeP₂S₁₂ 構造をもとに、原子数の異なる複数の系を作成

計算条件：
NVT, 500 K, 100 steps, 0.5 fs

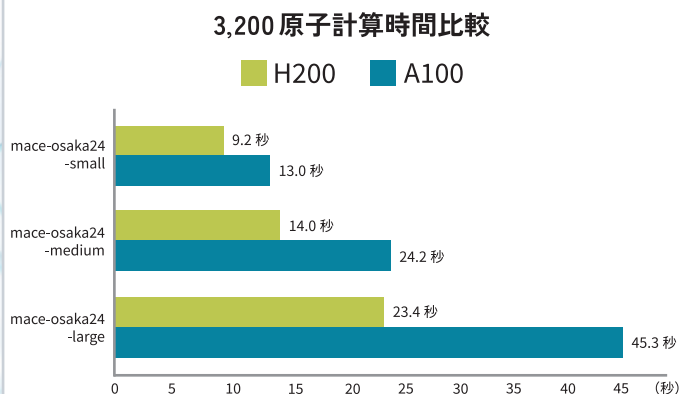
比較項目：
・ 3,200 原子での計算時間
・ 計算できた最大原子数

計算条件：
H200 / A100

対象モデル：
・ mace-osaka24-small
・ mace-osaka24-medium
・ mace-osaka24-large

ベンチマーク①

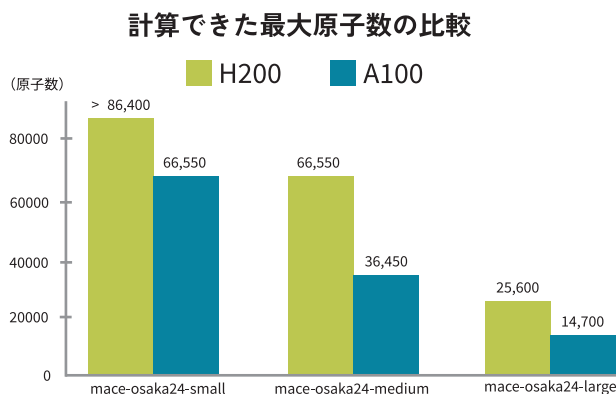
計算時間比較 (3,200原子)



いずれのモデルでも H200 の方が A100 より短い時間で計算できており、GPU アーキテクチャ差による性能向上は一貫して確認されました。

ベンチマーク②

最大原子数比較



H200 の方が A100 よりも大きい原子数の系を計算可能でした。特にモデルサイズが大きくなるほど、GPU メモリ容量の差が効きやすくなります。

条件探索で、GPU の差はどう現れるか？

ベンチマーク (100 steps) での数十秒の差も、実務で長時間の計算を複数条件で繰り返すと、GPU の性能差はスケジュールの決定的な差として積み上がります。

ここでは 10 万ステップ・50 ps で 10 パターンの条件探索を想定し、大型モデル (mace-osaka24-large) の所要時間を換算しました。

A100 では平日丸々 5 日間かかっていた条件探索が、H200 なら半分近いスピード (週末に回すだけ) で完了します。

10条件のスクリーニングにかかる トータル時間予測

